

核兵器禁止条約

日本政府に署名批准求める！ -新しい署名活動始まる-



日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発行】
岡野長寿
090
2095-5792
三浦とおる
090
1019-8791



新署名への協力を訴える尾道原水協メンバー

核廃絶の現実的一步、日本政府は直ちに署名・批准を！

日本時間10月25日未明、中米ホンジュラスが核兵器禁止条約の批准手続きを行い、批准国が50カ国に達し、同条約が来年1月22日から効力を発揮することが明らかになりました。

核兵器の保有は国際法上違法行為となり、核保有国はその廃絶を迫られることとなります。唯一の戦争被爆国日本政府は、この条約に署名・批准する道義的、国際法的責任が問われることとなります。

共産党尾道市議団は、オバマ大統領が広島を訪問し、核廃絶に向け大きく世論が巻き起こる中で、日本政府が核兵器禁止条約の採択に向けて積極的な役割を果たすよう求める意見書を市議会に提案し、採択するなど、核兵器廃絶に向け継続して努力を続けてきました。

今回、核兵器禁止条約の効力発揮が確定した情勢を受け、岡野長寿市議団長は「核兵器の保有が違法行為となり、核の傘の下に同盟関係を維持することは

その共犯となる。スガ首相の所信表明演説が注目されたが、核廃絶に向けた現実的好機が到来した中で、その実現にイニシアチブをとる表明がなされなかつたことはとても残念だった。改めて、同条約に署名・批准する歴史的意義を訴え、政府の姿勢を転換させるために力を尽くしたい」と決意を表明しました。

すでに10月29日、被爆者をはじめ、各界・各層の代表126氏によびかけにより新署名

内閣総理大臣 殿
唯一の戦争被爆国
日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

いま世界では核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声があがっています。多くの国ぐにが被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつつあります。

唯一の・・・(略)

私は、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めます。

名前	住所	募金

11月2日尾三地域労連、民主商工会、年金者組合、生活と健康を守る会の役員が尾道市議会を訪れ、①コロナ禍の経験をふまえて、誰もが安心できる国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険へ、制度と運営の改善を求める陳情書、②コロナ禍の経験をふまえて、介護保険制度の改善を求める陳情書、③最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求め、全国的に公開されてきている現状から教育委員会事務局が積極的に公開に向けて努力するように求めました。

尾道市議会に7つの陳情書を提出

「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動広島県実行委員会が尾道市議会に7つの陳情書を提出

11月2日尾三地域労連、民主商工会、年金者組合、生活と健康を守る会の役員が尾道市議会を訪れ、①コロナ禍の経験をふまえて、誰もが安心できる国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険へ、制度と運営の改善を求める陳情書、②コロナ禍の経験をふまえて、介護保険制度の改善を求める陳情書、③最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求め、全国的に公開されてきている現状から教育委員会事務局が積極的に公開に向けて努力するように求めました。

尾道市議会に7つの陳情書を提出

尾道市議会に7つの陳情書を提出

請願権の策定をせよ、教科書採択公開を 尾道の教科書を考える市民の会市教委に申し入れ



三浦市議は、11月6日に尾道の教科書を考える市民の会の尾道市教育委員会への申し入れに同行して、教科書採択の公開、市民による「請願権」を策定する等の申し入れをしました。

今回の尾道市教委に対しての申し入れの中では、尾道市教育委員会会議規則の中に「請願」規則が無いことを問題点として挙げて、会議規則の中に憲法16条の「請願権」が保障された基本的人権に反するもので早急に「請願権」を策定するように求めました。また、今年度も中学校の教科書採択に伴って「静謐な採択環境が奪われる」と言う理由で教科書採択が非公開になったことに対して強く求めました。

尾道市議も、全国的に公開されてきている現状から教育委員会事務局が積極的に公開に向けて努力するように求めました。

尾道市議は、11月6日に尾道の教科書を考える市民の会の尾道市教育委員会への申し入れに同行して、教科書採択の公開、市民による「請願権」を策定する等の申し入れをしました。

今回の尾道市教委に対しての申し入れの中では、尾道市教育委員会会議規則の中に「請願」規則が無いことを問題点として挙げて、会議規則の中に憲法16条の「請願権」が保障された基本的人権に反するもので早急に「請願権」を策定するように求めました。また、今年度も中学校の教科書採択に伴って「静謐な採択環境が奪われる」と言う理由で教科書採択が非公開になったことに対して強く求めました。